使用説明書
〈ドライバーインストール手順書〉

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

目次

プリンタードライバーについて

本書はおもに RPCS プリンタードライバーのインストール方法について説明しています。

お使いの OS のバージョンまたはエディションによってはプリンタードライバーのインストール手順が異なる場合があります。詳細は Windows のヘルプを参照してください。

印刷するための準備として、プリンタードライバーのインストール方法について説明します。推奨する方法で一括インストールする「おすすめインストール」と、各ポート別にインストールする方法があります。

おすすめインストールについては P.7「おすすめインストール」を参照してください。
各ポート別のインストール方法については P.12「プリンタードライバーをポート別にインストールする」を参照してください。

PCL プリンタードライバーのインストールについて

PCL プリンタードライバーは Windows で使用できます。

PCL プリンタードライバーを使用するためには拡張エミュレーションが必要です。詳細は『PCL 編』を参照してください。

PostScript® 3TM プリンタードライバーのインストールについて

PostScript 3 プリンタードライバーは Windows または Mac OS で使用できます。
PostScript 3 プリンタードライバーを使用するためには拡張エミュレーションが必要です。詳細は『PostScript 3 編』を参照してください。

プリンタードライバーのダウンロードについて

プリンタードライバーは、付属の CD-ROM からインストールするか、リコーのホームページからダウンロードできます。

ドライバーをダウンロードするには、リコーのホームページで本機を選択し、お使いの OS を選択してください。（http://www.ricoh.co.jp/download/index.html）

Ridoc IO Navi について

お使いのパソコンに Ridoc IO Navi をインストールすると、Ridoc IO Navi ポートを使用できます。このポートを使用すると、ネットワーク環境を簡単に構築できます。詳細は「Ridoc IO Navi ポートを使う」を参照してください。

Ridoc IO Navi は、リコーのホームページからダウンロードできます。（http://www.ricoh.co.jp/）

BMLinkS ドライバーのダウンロードについて

BMLinkS 最新ドライバーは、BMLinkS のホームページからダウンロードできます。（http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/）

補足

- ダウンロードできるプリンタードライバーの OS 別対応状況については、リコーのホームページで確認できます。（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/）

- Ridoc IO Navi の正式名称は「Ridoc IO Navi 2」です。このマニュアルの本文中では「Ridoc IO Navi」の略称を使用しています。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

本書は、複数機種共通のマニュアルです。お使いの機種によっては、使用でき ない機能やオプションがあります。

1. おすすめインストールについて

本機への接続が簡単な「おすすめインストール」について説明します。

おすすめインストール

プリンタードライバーのインストールと、本機への接続が簡単に設定できます。

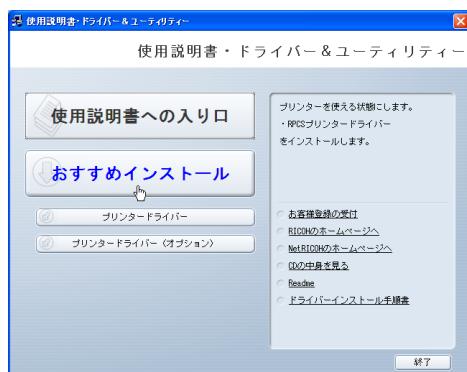
［おすすめインストール］ボタンをクリックすると、本機が TCP/IP を使用しているネットワークに接続されていて、IP アドレスが設定されている場合、RPCS プリンタードライバーをインストールして TCP/IP ポートが設定されます。本機がパラレル接続されている場合は、RPCS プリンタードライバーをインストールして LPT1 ポートが設定されます。

ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

- **本機を USB 接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバーを正しくインストールできません。USB で接続した場合は、P.29「USB 接続で使う」を参照してください。**
- **本機を Bluetooth 接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバーを正しくインストールできません。Bluetooth で接続した場合は、P.37「Bluetooth を使う」を参照してください。**
- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. **この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。**
2. **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。
3. **［おすすめインストール］をクリックします。**

4. **ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は「同意します」を選択し、［次へ］をクリックします。**

1

5. おすすめインストールをする機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、「接続先」に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

パラレル接続の場合、「接続先」に「プリンタポート」が表示されているプリンターを選択します。

6. ［インストール］をクリックします。

7. ［完了］をクリックします。

［再起動の確認］ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

8. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールができません。双方向通信をするためには条件が必要です。詳細は P.43「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

2. ネットワーク接続

付属の CD-ROM からドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについての説明です。

接続方法を確認する

プリンターは、ネットワーク接続またはローカル接続することができます。

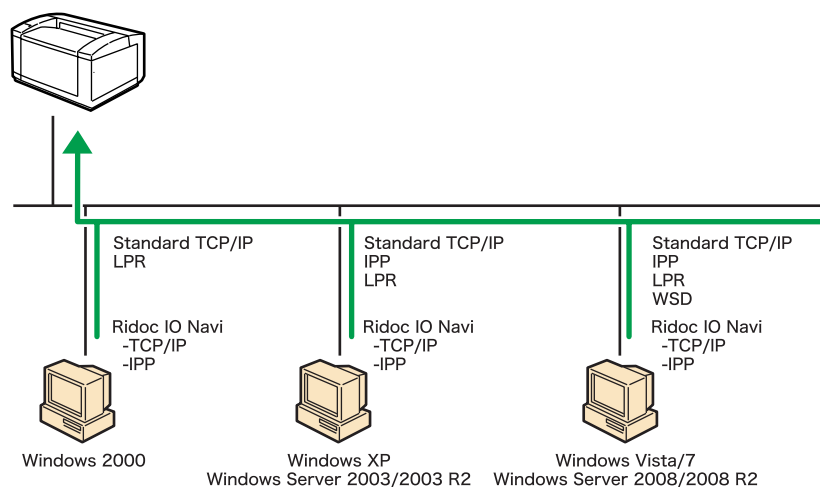
プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをどのように接続したかを確認し、ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続について

ネットワーク接続には、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）する方法と、プリントサーバーを利用して本機をネットワークプリンターとして使用する方法があります。

Windows の印刷ポートを使う

お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットまたは無線 LAN を使用します。

2

Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
• イーサネット • 無線 LAN	• Standard TCP/IP ポート • IPP ポート • LPR ポート • Ridoc IO Navi ポート

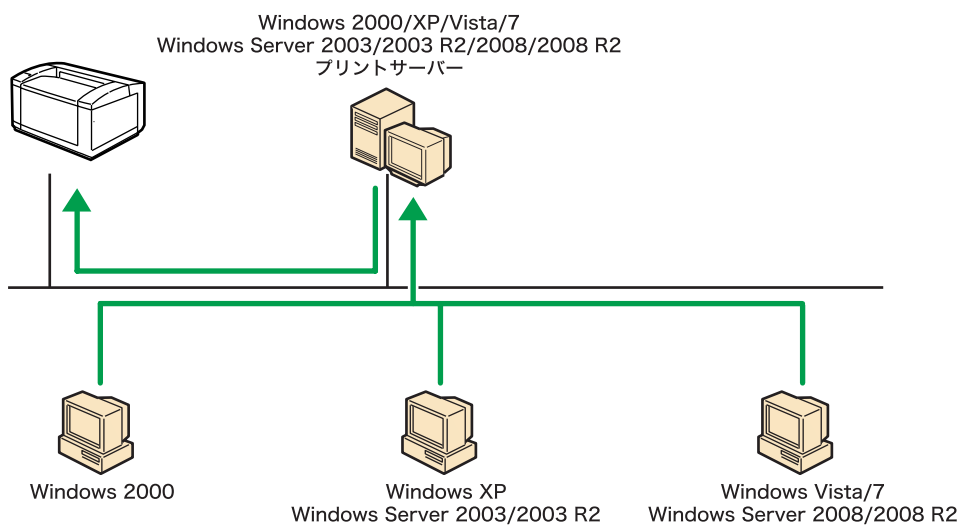
Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
• イーサネット • 無線 LAN	• Standard TCP/IP ポート • IPP ポート • LPR ポート • WSD ポート • Ridoc IO Navi ポート

補足

- 各ポートごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のポートの記載を参照してください。
- P.12「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.14「IPP ポートを使う」
- P.16「LPR ポートを使う」
- P.18「WSD ポートを使う」
- P.21「Ridoc IO Navi ポートを使う」

プリントサーバーを使う

Windows ネットワークプリンターとして使用できます。

補足

- プリンタードライバーのインストール方法については P.26「Windows ネットワークプリンターを使う」を参照してください。

プリンタードライバーをポート別にインストールする

さまざまなポートを使用して印刷を行う場合の、RPCS プリンタードライバーのインストール方法について説明します。ここでは Windows XP を例に説明します。

Standard TCP/IP ポートを使う

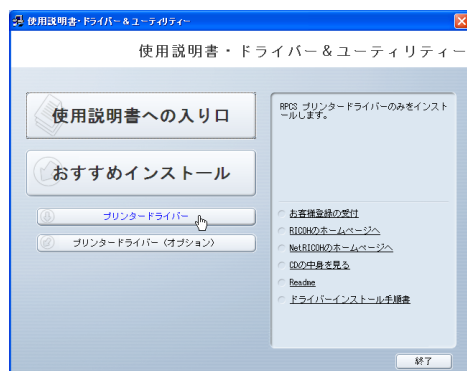
重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **お使いの OS が Windows 2000/XP，Windows Server 2003/2003 R2 の場合、IPv6 の環境では Standard TCP/IP ポートは使用できません。IPv6 の環境で使用する場合は、Ridoc IO Navi ポートを使用してください。**

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。

3. ［プリンタードライバー］をクリックします。

4.「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

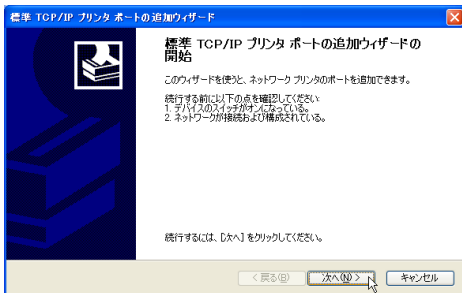
5.「プリンタードライバーの導入」ダイアログで、インストールするプリンタードライバーのチェックボックスにチェックを入れます。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

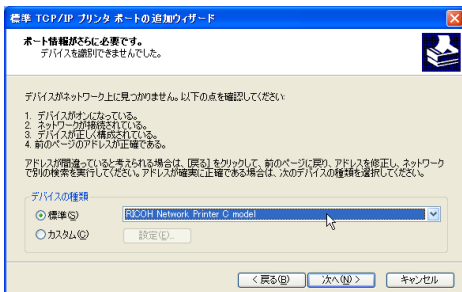
7. ［ポート:］を選択し、「'ポート'の設定の変更」にある［追加］をクリックします。

8. ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［OK］をクリックします。

「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP の設定をしてください。

9. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、［次へ］をクリックします。

10. 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスにプリンター名または本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

「ポート名」ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

デバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH Network Printer C model」を選択してください。

11.「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了]をクリックします。

[ポート:]に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:]をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

13. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14. 必要に応じて、選択したプリンターを共有プリンターに設定します。

15. [完了]をクリックします。

16. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

17. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

IPP ポートを使う

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **IPv6 の環境では、IPP ポートは使用できません。Ridoc IO Navi ポートをお使いください。**
- **Windows 2000 をお使いの場合、IPP ポートは使用できません。IPP プロトコルを使用して印刷をする場合は、Ridoc IO Navi が必要です。**
- **IPP-SSL 経由で印刷を行う場合は、Ridoc IO Navi ポートをお使いください。**

- Windows Vista/7 または Windows Server 2008/2008 R2 をお使いの場合で、IPP-SSL 経緯で印刷を行う場合は、IPP ポートでプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンに機器証明書をインストールしてください。詳細は管理者に問い合わせてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] メニューから [プリンタと FAX] ウィンドウを開き、[プリンタのインストール] をクリックします。
3. [次へ] をクリックします。
4. 「プリンタの追加ウィザード」で [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択します。

   「URL:」に「http://（本機の IP アドレスまたはホスト名）/printer (または ipp)」を入力します。
6. [次へ] をクリックします。
7. [ディスク使用] をクリックします。
8. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

   付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

   CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。
9. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

   INF ファイルを選択します。

   CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

   - Windows 32bit 版プリンタードライバー

     D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1
   - Windows 64bit 版プリンタードライバー

     D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1
10. [OK] をクリックします。
11. [プリンタの追加ウィザード] でインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
12. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。
13. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

LPR ポートを使う

2

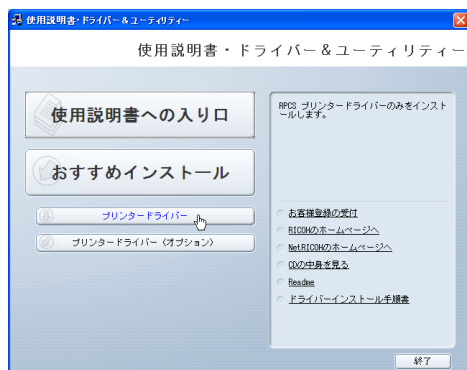
重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。

3. [プリンタードライバー] をクリックします。

4. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. 「プリンタードライバーの導入」ダイアログで、インストールするプリンタードライバーのチェックボックスにチェックを入れます。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

7. [ポート:] を選択し、「'ポート'の設定の変更」にある [追加] をクリックします。

8. ［LPR Port］を選択し、［OK］をクリックします。

「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して LPR ポートを組み込んでください。

9. 「LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス」ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。

10. 「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。

11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

［ユーザーコード:］をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

13. 必要に応じて、選択したプリンターを共有プリンターに設定します。

14. ［完了］をクリックします。

15. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

16. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

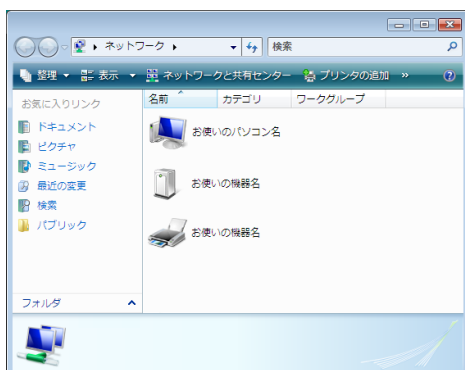
WSD ポートを使う

重要

- Windows Vista/7 と Windows Server 2008/2008 R2 でご使用いただけます。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 本機とパソコンが異なるネットワークセグメントに接続されている場合や、「ネットワーク探索」が無効になっている場合、本機を検出できません。詳細は Windows のヘルプを参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 をお使いのとき

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. ［スタート］メニューの［ネットワーク］をクリックします。

   ［ネットワーク］ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。

3. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューの［インストール］をクリックします。
4. ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。
5. ［オンラインで検索しません］をクリックします。

   お使いの OS によっては、この操作が必要ない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。
6. ［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。
7. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

   付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROMをセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

8. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INFファイルを選択します。

CD-ROMドライブがD:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

- Windows 32bit版プリンタードライバー

  D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

9. [次へ] をクリックします。

10. [閉じる] をクリックします。

11. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブから取り出します。

補足

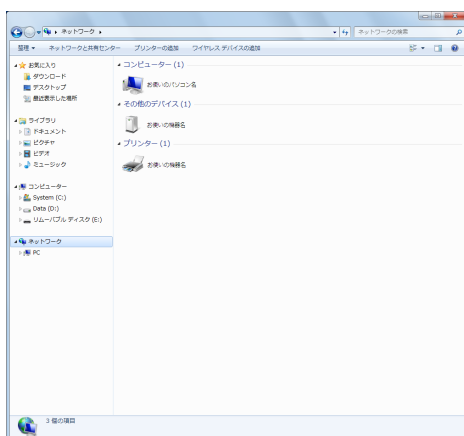
- インストールの途中でWindowsの警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2をお使いのとき

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. [スタート] メニューの [コンピューター] をクリックします。

3. [ネットワーク] をクリックします。

[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。

4. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［インストール］をクリックします。

「デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした」と表示された場合は、メッセージを閉じて次の手順に進んでください。

5. ［スタート］メニューの［デバイスとプリンター］をクリックします。

6. ［プリンターの追加］をクリックします。

7. ［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。

8. ［既存のポートを使用：］が選択されていることを確認して、WSD ポートを選択します。

9. ［次へ］をクリックします。

10. ［ディスク使用...］をクリックします。

11. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

12. ［参照］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

- Windows 32bit 版プリンタードライバー

  D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit 版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

13. ［OK］をクリックします。

14. インストールしたいプリンターを選んで、［次へ］をクリックします。

15. **画面の指示に従ってインストールを続行してください。**

16. **インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。**

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、［ネットワーク］ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［アンインストール］を実行してください。

Ridoc IO Navi ポートを使う

Ridoc IO Navi ポートを使うには、お使いのパソコンに Ridoc IO Navi がインストールされている必要があります。

重要

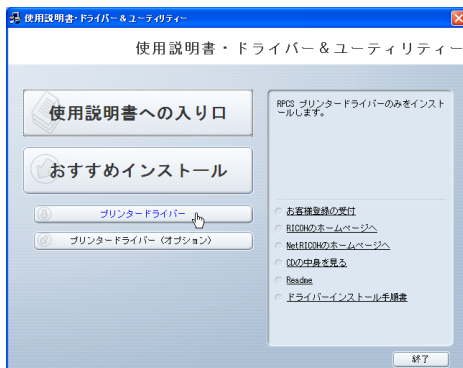
- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

Standard TCP/IP ポートを使う

1. **この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。**

2. **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

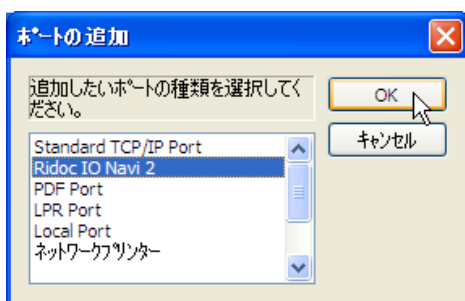
インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。

3. **［プリンタードライバー］をクリックします。**

4. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

5. 「プリンタードライバーの導入」ダイアログで、インストールするプリンタードライバーのチェックボックスにチェックを入れます。

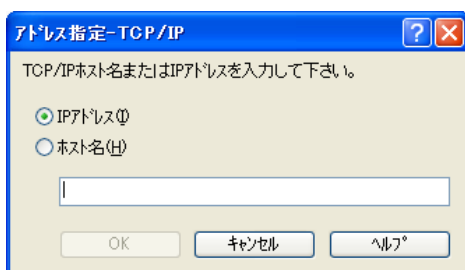
6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

7. ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8. 「Ridoc IO Navi 2」を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［TCP/IP］を選択します。

10. ［機器検索］をクリックします。

11. 使用するプリンターを選択します。

コンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターを選択するときは、［アドレス指定］をクリックします。本機の IP アドレスまたはホスト名を直接入力し、［OK］をクリックしてください。

12. ［OK］をクリックします。

13. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

14. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

15. 必要に応じて、選択したプリンターを共有プリンターに設定します。

16. ［完了］をクリックします。

17. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

18. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

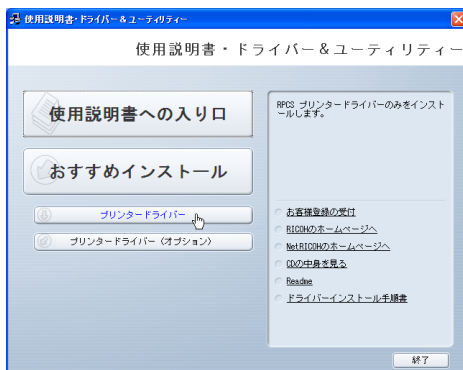
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

IPP ポートを使う

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

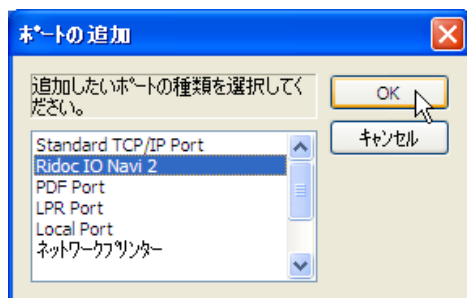
インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。

3. ［プリンタードライバー］をクリックします。

4. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］を選択し、［次へ］をクリックします。

5. ［プリンタードライバーの導入］ダイアログで、インストールするプリンタードライバーのチェックボックスにチェックを入れます。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

7. ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

8. 「Ridoc IO Navi 2」を選択し、［OK］をクリックします。

9. ［IPP］を選択します。

10. ［プリンタの URL］に「http://（本機の IP アドレスまたはホスト名）/printer」または「http://（本機の IP アドレスまたはホスト名）/ipp」を入力します。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機の IP アドレス）/printer」と入力します。この場合、お使いのパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。

11. 必要に応じて［IPP ポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力した IP アドレスが IPP ポート名に設定されます。

12. プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

詳しい設定項目については、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

13. ［OK］をクリックします。

14. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

15. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

16. ［完了］をクリックします。

17. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

18. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi ポートの設定を変更する

TCP/IP のプロトコルなど、Ridoc IO Navi の設定を変更できます。

1. ［スタート］メニューから［プリンタ］または［プリンタと FAX］、［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。

2. 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3. ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。

補足

- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法については、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Windows ネットワークプリンターを使う

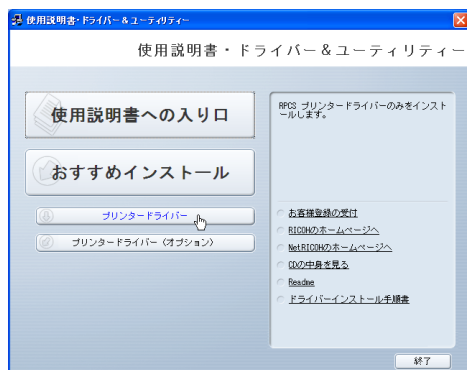
Windows ネットワークプリンターを使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。ここでは Windows XP を例に説明します。

2

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**
- **共有プリンターの場合、クライアントに Ridoc IO Navi の印刷通知が行われないことがあります。 印刷通知が行われないときは、お使いのパソコンでログオンしなおすか Windows ファイアウォールの設定を確認してください。**

1. **この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。**
2. **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。
3. **[プリンタードライバー] をクリックします。**

4. **[使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。**
5. **[プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。**
6. **インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。**
7. **[ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。**

8. ［ネットワークプリンター］を選択し、［OK］をクリックします。

9. ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10. インストールするプリンタードライバーを選択し、［OK］をクリックします。

11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

13. ［完了］をクリックします。

14. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

15. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールが継続できません。インストールをキャンセルしてから、Windows ネットワークプリンターを設定してください。詳細はお使いの機器の使用説明書を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

3. ローカル接続

付属の CD-ROM からドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについての説明です。ローカル接続には USB 接続とパラレル接続、Bluetooth 接続があります。

USB 接続で使う

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

重要

- **USB 接続でインストールを行う場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

Windows 2000 と USB で接続する

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

お使いの機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. **本機の電源が切れていることを確認します。**
2. **本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。**
3. **本機の電源を入れます。**

   [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。
4. **[次へ>] をクリックします。**
5. **[デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)] をチェックし、[次へ>] をクリックします。**
6. **[場所を指定] をチェックし、[次へ>] をクリックします。**
7. **付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

8. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

9. [製造元のファイルのコピー元] にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

3

10. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

11. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 と USB で接続する

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

お使いの機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタと FAX] ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 本機の電源を入れます。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

4. [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ>] をクリックします。

5. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

6. ［次の場所で最適のドライバを検索する］の［次の場所を含める］をチェックし、［参照］をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

- Windows 32bit 版プリンタードライバー

  D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit 版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

7. プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、［次へ >］をクリックします。

8. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。

9. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 と USB で接続する

本機のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［プリンタ］ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. 本機の電源を入れます。

4. ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

5.［オンラインで検索しません］をクリックします。

お使いの OS によっては、この操作が必要ない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

7.［参照］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

- Windows 32bit 版プリンタードライバー

  D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit 版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

8. 本機の RPCS プリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックします。

9.［閉じる］をクリックします。

10. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 と USB で接続する

本機のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、［デバイスとプリンター］ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機の電源が切れていることを確認します。

2.［スタート］メニューの［デバイスとプリンター］をクリックします。

3.「プリンターと FAX」に表示されている任意のアイコンをクリックします。

4. [プリントサーバー プロパティ] をクリックします。
5. [ドライバー] タブをクリックし、[追加...] をクリックします。
6. [次へ] をクリックします。
7. お使いのパソコンのプロセッサとオペレーティングシステムを選択し、[次へ] をクリックします。
8. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

   付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

   CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

9. [ディスク使用...] をクリックします。
10. [参照...] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

    INF ファイルを選択します。

    CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

    - Windows 32bit 版プリンタードライバー

      D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

    - Windows 64bit 版プリンタードライバー

      D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

11. 本機の RPCS プリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
12. [完了] をクリックします。
13. [閉じる] をクリックします。
14. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
15. 本機の電源を入れます。
16. 「プリンターと FAX」に本機のプリンタードライバーのアイコンが表示されていることを確認します。

    プリンタードライバーのアイコンが表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

17. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	以下の方法で電源コードおよび USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。本機の電源を切り、ケーブルを一旦抜いてから再度しっかりと差し込みます。ケーブルに緩みがないことを確認し、本機の電源を入れます。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］または［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の［！］がついたり、黄色の［？］がついたりしています。必要なデバイスを削除しないようにご注意ください。デバイスマネージャへのアクセス方法、デバイスの削除については、Windows のヘルプを参照してください。

3

パラレル接続で使う

本機とパソコンをパラレル接続して使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ローカルポート」に指定してインストールします。

重要

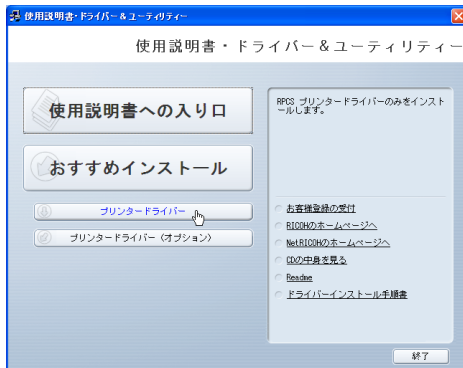
- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

3

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーがすでに起動している場合は次の手順に進んでください。

3. [プリンタードライバー] をクリックします。

4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. 「コンポーネントの選択」ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。

7. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

9. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。
10. 必要に応じて、選択したプリンターを共有プリンターに設定します。
11. ［完了］をクリックします。
12. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。
13. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.41「プリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Analyzer で確認できます。詳細は Ridoc IO Analyzer のヘルプを参照してください。

Bluetooth を使う

Bluetooth を使用する方法の説明です。ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

- **お使いの機種によっては、Bluetooth を使用できない場合があります。オプションについては、お使いの機種のマニュアルを参照してください。**

対応プロファイル

以下の Bluetooth profile に対応しています。

- SPP （Serial Port Profile）
- HCRP （Hardcopy Cable Replacement Profile）
- BIP （Basic Imaging Profile）

SPP、HCRP 制約事項

- Bluetooth インターフェースで同時に接続できる Bluetooth デバイスは、SPP 接続で 1 台、HCRP 接続で 1 台の合計 2 台です。
- 複数の Bluetooth アダプターや、Bluetooth 内蔵のパソコンで接続する場合、最初に接続を確立した機器が有効となります。その他の機器が接続する場合、最初に接続を確立した機器が接続を解除する必要があります。
- SPP 接続の場合、双方向通信には対応していません。
- HCRP 接続の場合、双方向通信に対応しています。

BIP 制約事項

- BIP で接続するには、本機に PostScript 3 を含む拡張エミュレーションカードが装着されている必要があります。
- BIP 接続では同時に複数接続はできません。複数の Bluetooth デバイスから印刷する場合は、1 台ずつ行ってください。
- BIP 接続で印刷できるフォーマットは JPEG です。
- BIP 接続ではユーザーコードが無効になります。
- 本機に印刷制限が設定されている場合、BIP 接続では印刷することができません。
- 本機に課金用印刷の設定がされている場合、BIP 接続による印刷の課金ログを取得できません。

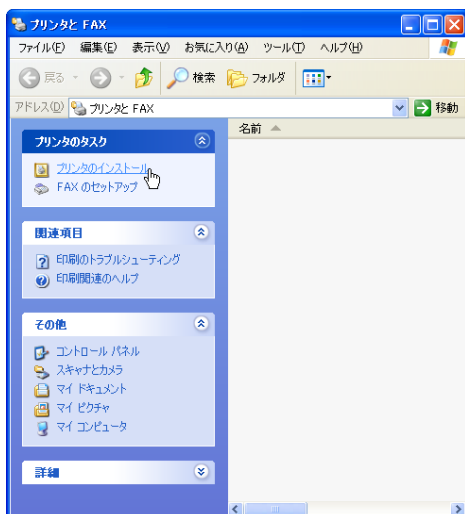
ここでは、HCRP で印刷する方法について説明します。SPP、BIP で印刷する方法については、お使いの Bluetooth アダプターに付属のマニュアルまたは Microsoft のホームページを参照してください。

Bluetooth プリンターの追加方法

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Bluetooth デバイスが装着されていないパソコンでは、Bluetooth プリンターの追加はできません。お使いのパソコンに Bluetooth デバイスが装着されていることをあらかじめご確認ください。

3

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. プリンターの電源が入っていることを確認します。
3. [スタート] メニューから [プリンタと FAX] ウィンドウを開き、[プリンタのインストール] をクリックします。

4. [次へ] をクリックします。
5. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。
6. 「新しいポートの作成：」にチェックを入れます。
7. 「ポートの種類：」で Bluetooth デバイスのポートを選択し、[次へ] をクリックします。
8. Bluetooth デバイスの一覧からお使いになるプリンターを選択し、[接続] または [OK] をクリックします。
9. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

   付属の CD-ROM をすでにセットしている場合は次の手順に進んでください。

CD-ROM をセットした直後にウィンドウが自動表示された場合は閉じてください。

10.［ディスク使用...］をクリックします。

11.［参照...］をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

- Windows 32bit 版プリンタードライバー

  D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit 版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

12.［OK］をクリックします。

13. インストールするプリンタードライバー名を確認し、［次へ］をクリックします。

14. 画面の指示にしたがってインストールを続行してください。

15. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

補足

- 使用環境やインストール方法は、Bluetooth デバイスや Bluetooth 内蔵のパソコンに準じます。詳細はお使いの Bluetooth デバイスや Bluetooth 内蔵のパソコンに付属のマニュアルを参照してください。
- インストールの途中で Windows の警告メッセージが表示されることがありますが、インストールを続行してください。

4. 付録

プリンタードライバーのインストールや、その他の注意事項などについて説明します。

プリンタードライバーのインストールに失敗したとき

おすすめインストールに失敗したときは、P.12「Standard TCP/IP ポートを使う」または P.35「パラレル接続で使う」を参照してインストールしてください。CD-ROM 収録のインストーラーによるインストールにも失敗したときは、以下の手順でインストールしてください。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

Windows 2000 をお使いのとき

1. **［スタート］メニューから［プリンタ］ウィンドウを開きます。**
2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。**
3. **画面の指示に従ってインストールします。**

   INF ファイルを選択します。

   CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

   D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 をお使いのとき

1. **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。**
2. **［プリンタのインストール］をクリックします。**
3. **画面の指示に従ってインストールします。**

   INF ファイルを選択します。

   CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

   - Windows 32bit 版プリンタードライバー

     D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1

- Windows 64bit 版プリンタードライバー

  D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

Windows Vista、Windows Server 2008 をお使いのとき

1. ［スタート］メニューから［プリンタ］ウィンドウを開きます。
2. ［プリンタのインストール］をクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールします。

   INF ファイルを選択します。

   CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

   - Windows 32bit 版プリンタードライバー

     D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1
   - Windows 64bit 版プリンタードライバー

     D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

Windows 7、Windows Server 2008 R2 をお使いのとき

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。
2. ［プリンターの追加］をクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールします。

   INF ファイルを選択します。

   CD-ROM ドライブが D:¥の場合、インストールするプリンタードライバーは以下のフォルダーに収録されています。

   - Windows 32bit 版プリンタードライバー

     D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1
   - Windows 64bit 版プリンタードライバー

     D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

補足

- Windows Server 2008 R2 の場合は、Windows 64bit 版プリンタードライバーをインストールしてください。

オプション構成や用紙の設定

本機に装着されているオプションやセットされている用紙の情報をパソコン側で自動的に取得できます。これを双方向通信といいます。双方向通信が働いていると、本機の状態も確認できます。

双方向通信が働いている場合は、オプション構成や用紙の設定は必要ありません。

双方向通信が働いていない場合は、手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定します。

双方向通信が働く条件

4

重要

- **双方向通信を使用する場合、プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブにある「自動的にプリンタ情報を取得」にチェックが入っていることを確認してください。**

ネットワーク接続の場合、次のいずれかのポートを使用してください。

- 標準 TCP/IP ポート
- WSD ポート

ローカル接続の場合、本機とパソコンを次のいずれかの方法で接続してください。

- パラレル接続
- USB 接続
- Bluetooth 接続

補足

- USB 接続で双方向通信を使用する場合、プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］タブにある「双方向サポートを有効にする」にチェックが入っていることを確認してください。
- 本機と接続するパソコンの環境や設定によっては双方向通信が働きません。その場合、本機に装着されているオプションやセットされている用紙の情報をパソコンで設定する必要があります。詳細はP.43「双方向通信が働かないときには」を参照してください。

双方向通信が働かないときには

双方向通信が働かない場合は、手動で本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定します。ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

- **管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。**

1. ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2. 追加したプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

インストール後初めてプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合は、オプション設定を促す画面が表示されます。［OK］をクリックします。

3. ［オプション構成］タブをクリックします。

4. 「オプション選択」で、取り付けたオプションのチェックボックスにチェックを入れます。

5. SDRAM モジュールを増設した場合は、「トータルメモリー：」で増設後の合計メモリー容量を選択します。

6. ［給紙トレイ設定の変更...］をクリックします。

7. 「給紙トレイ：」、「用紙サイズ：」、「用紙種類：」、「トレイ用紙セット方向」の各項目を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］にチェックを付けます。

8. ［トレイ／サイズ設定の変更］をクリックし、［OK］をクリックします。

9. ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Mac OS で使う

AppleTalk を使う

Mac OS の AppleTalk 環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定方法を説明します。

セットアップの流れ

1. Mac OS で AppleTalk を有効にします
2. 本機の環境設定をします

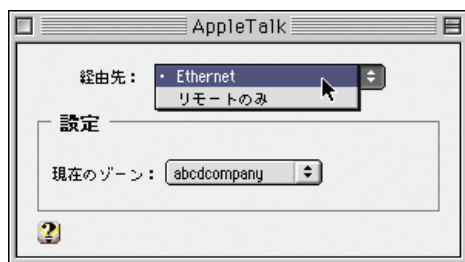
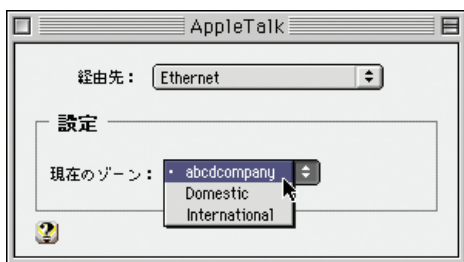
補足

- 対象となる Mac OS X のバージョンは 10.1 以上 10.5 以下です。
- Mac OS から印刷するには PostScript 3 を含む拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。
- AppleTalk に必要なソフトウェアのインストールについては、Mac OS のマニュアルを参照してください。

Mac OS

Mac OS で AppleTalk を有効にする方法の説明です。

1.［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。

2.「経由先」ポップアップメニューから［Ethernet］を選択します。

3. ゾーンを変更するときは、「現在のゾーン」ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4. すべてのウィンドウを閉じます。

5. Mac OS を再起動します。

4

Mac OS X

Mac OS X で AppleTalk を有効にする方法を説明します。

重要

- 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザー名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

1. [System Preference] または [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2. AppleTalk が使用できる環境を選択します。

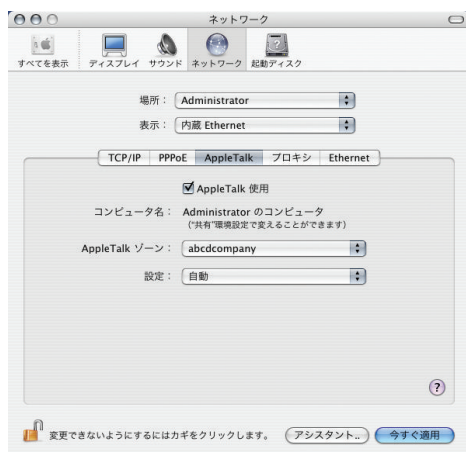
   Mac OS X 10.5 の場合、[詳細...] をクリックします。

3. [AppleTalk] タブをクリックします。

4. [AppleTalk 使用] または [AppleTalk を有効にする] のチェックボックスにチェックを入れます。

5. ゾーンを変更する場合には、[AppleTalk ゾーン:] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

6. 設定が完了したら [今すぐ適用] をクリックします。

   Mac OS X 10.5 の場合、[OK] をクリックします。

7. ［適用］をクリックします。

Mac OS X 10.4 以下の場合、この操作は不要です。次の手順に進んでください。

8. すべてのウィンドウを閉じます。

本機の設定

プリンター側で AppleTalk プロトコルが有効になっている必要があります。詳細は『PostScript 3 編』を参照してください。

USB インターフェースを使う

重要

- **PostScript 3 を含む拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。**
- **お使いのパソコンとプリンターが USB ケーブルで接続され、電源が入っていることをあらかじめご確認ください。**

Mac OS

Mac OS で、USB インターフェースを使用する場合の設定方法の説明です。

1. ハードディスク内の［AdobePS Components］フォルダーを開きます。

2. ［Desktop Printer Utility］をダブルクリックします。

3. ［プリンタ：］ポップアップメニューから［AdobePS］を選択し、［デスクトップに作成...］から［プリンタ（USB）］を選択して、［OK］をクリックします。

4. ［PostScript™ プリンタ記述（PPD)］ファイルの［変更］をクリックします。

5. 接続したプリンターの PPD ファイルを選択し、［選択］をクリックします。

6. ［USB プリンタの選択：］で、［変更］をクリックします。

7. ［USB プリンタの選択：］で、接続したプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

8. ［作成］をクリックします。

9. ［保存する］をクリックします。

10. 保存先と名称を指定し、［保存］をクリックします。

    デスクトップにプリンターアイコンが表示されます。

11. ［Desktop Printer Utility］を終了します。

- Macintosh では本体標準の USB ポートのみ対応しています。
- Macintosh と USB 接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。詳細は『PostScript 3 編』を参照してください。

Mac OS X 10.2 〜 10.3 の場合

1.「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」を起動します。

2.［追加］をクリックします。

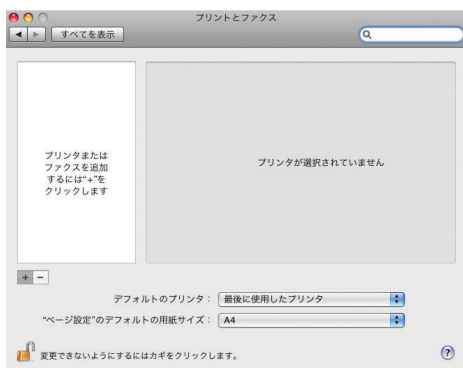
3. ポップアップメニューから［USB］を選択します。

4. プリンターを選択し、［プリンタの機種］ポップアップメニューから［RICOH］を選択します。

5. 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、［追加］をクリックします。

6. プリンタリストを閉じ、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」を終了します。

Mac OS X 10.4 〜 10.6 の場合

1.「プリントとファクス」を起動します。

2.［+］をクリックします。

3. 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名（種類または接続が USB）を選択し、［追加］をクリックします。

4.「プリントとファクス」を終了します。

Rendezvous を使う

Mac OS X 10.2.3〜Mac OS X 10.3 では、Rendezvous を使って本機に印刷できます。イーサネット接続および無線 LAN で接続できます。

重要

- **PostScript 3 を含む拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。**
- **Rendezvous を使うには、Bonjour のプロトコルが「有効」に設定されている必要があります。使用する前に、Web Image Monitor の「ネットワーク」の項目、または telnet の set コマンドで、Bonjour を有効にしてください。設定やコマンドについては、Web Image Monitor のヘルプ、または『Linux/Unix をお使いの方へ』を参照してください。**

4

1.「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」を起動します。

2.［追加］をクリックします。

3. ポップアップメニューから［Rendezvous］を選択します。

4. プリンターを選択し、［プリンタの機種］ポップアップメニューから［RICOH］を選択します。

機種名の一覧が表示されます。

5. 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、［追加］をクリックします。

6. プリンタリストを閉じ、「プリンタ設定ユーティリティ」または「プリントセンター」を終了します。

補足

- Macintosh と Rendezvous で接続する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。詳細は『PostScript 3 編』を参照してください。
- Rendezvous 上で IP アドレスの設定は必要ありません。

Bonjour を使う

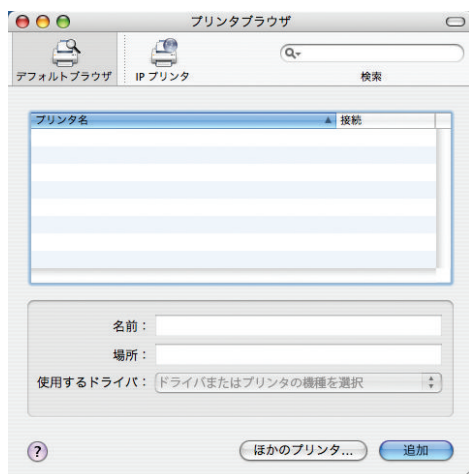
Mac OS X 10.4 以降では、Bonjour を使って本機に印刷できます。イーサネット接続および無線 LAN で接続できます。

- **PostScript 3 を含む拡張エミュレーションが本機に増設されている必要があります。**

- Mac OS X の操作方法は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。
- Macintosh と Bonjour で接続する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。詳細は『PostScript 3 編』を参照してください。

Mac OS X 10.4 の場合

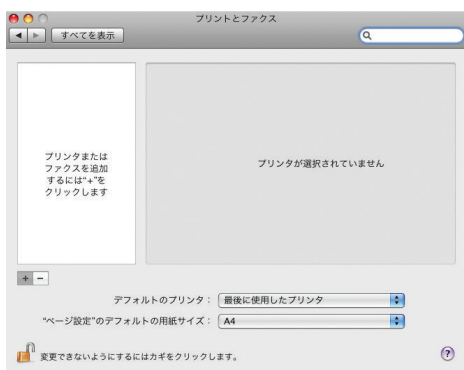
1. **「プリントとファクス」を起動します。**
2. **[+] をクリックします。**
3. **[デフォルトブラウザ] をクリックします。**
4. **機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名（接続が Bonjour）を選択します。**

   「使用するドライバ：」プルダウンメニューにお使いの機種名が表示されます。 PPD ファイルが自動選択されない場合は、[その他...] を選択して手動でお使いの機種の PPD ファイルを指定します。
5. **[追加] をクリックします。**

6. すべてのウィンドウを閉じます。

補足

- PPD ファイルが自動選択されない場合に選択する PPD ファイルの名前とインス トール先については、『PostScript 3 編』「機種情報」を参照してください。
- Bonjour 上で IP アドレスの設定は必要ありません。

Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

1. 「プリントとファクス」を起動します。
2. [+] をクリックします。

3. 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名（種類が Bonjour）を選択し、[追加] をクリックします。
4. 「プリントとファクス」を終了します。

補足

- Bonjour 上で IP アドレスの設定は必要ありません。

商標

Adobe、PostScript は、Adobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Apple、AppleTalk、Bonjour、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Monotype は Monotype Imaging, Inc.の登録商標です。

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

UPnP™ is a trademark of the UPnP Implementers Corporation.

- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional Edition

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 7 Home Premium

  Microsoft® Windows® 7 Professional

  Microsoft® Windows® 7 Ultimate

  Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

BMLinkS について

- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（Japan Business Machine and Information System Industries Association<JBMIA>）が推進しているオフィス機器インターフェイスです。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS 認証を受けています。
- BMLinkS 標準仕様バージョンについては、BMLinkS のインストールガイドを参照してください。
- BMLinkS カードを装着した本機は、BMLinkS プリントサービスを実装しています。

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

使用説明書〈ドライバーインストール手順書〉

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOHのホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120-000-475
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

JA (JP) 2011年3月 M080-8507